

5/10 (土) Make your city child friendly!

“ワールドカフェ”で語らいイメージしてみませんか？

こどもにやさしいまちって

どんなまち？



♪ こどものこえをまちづくりに ♪



子どもにやさしいまちは、すべての人にとってやさしいまち。
ユニセフのホームページにはそう書かれています。

子どもや大人が各々の生活圏でそう感じられるまちは、行政の
努力だけでは成し遂げられません。

子どもたちを含めた私たち市民も一緒になって、取り組むべき
ミッションではないでしょうか。

話題提供ののち、ワールド・カフェと呼ばれる対話スタイルにて
少人数グループに分かれて話したり聴いたりします。

子どもも大人も、誰でも参加できます。

関心ある方はぜひお気軽にご参加ください。



Child
Advocacy



World Cafe!!

*とき: 2025年5月10日(土)

14:00~16:00(受付13:45頃~)

*ばしょ: アイプラザ豊橋小ホールにて

*参加費は無料ですが、資料代としてお一人

200円を頂戴します。(18歳以下は無料)

*お申し込み先:

①Googleフォームから→

②Eメールまたは電話

✉ kodomonomaikuk@gmail.com

☎ 080-5697-5197

③お問い合わせ先



上記Eメールまたは電話よりお願いします

主催: こどものマイクけんきゅうかい

協力: とよはしCAP・とよはしプレーパーク



話題提供者:

こどものマイクけんきゅうかい

世話人

あんどういゅん

ワールドカフェとは？

- 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行います。自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえます。
- メンバーの組み合わせを変えながら、4~5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られます。

後援: 愛知県ユニセフ協会



こどものマイクけんきゅうかい

～こどものマイクけんきゅうかいは、こどもたちが安心して
気持ちや意見を表明できる環境と文化をつくるために活動
しています～

〈設立年月日〉2019年7月1日 〈会員数〉50名(2024年12月時点)
*とよた市民活動センターの登録団体です
*『広げよう! 子どもの権利条約キャンペーン』の賛同団体です
*子どもの権利条約フォーラムinとうかいに参加しています
*子どもの権利条約フォーラム2023inとよたの準備委員会として2022年に
プレフォーラムを4回開催しました
*子どもの権利条約フォーラム2023inとよたの実行委員会構成団体として
18の市民活動団体等と一緒に、フォーラムの企画と運営に参加しました



＊ユニセフ（国際連合児童基金: United Nations Children's Fund）
の子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI：Child Friendly Cities &
Communities Initiatives）について
（以下は日本ユニセフ協会のホームページからの引用です。）

ユニセフ日本型子どもにやさしいまちは、以下の10の構成要素を基準としています。

1. 子どもの参画
子どもの意見を聞きながら、意思決定過程に加わるように積極的参加を促すこと
2. 子どもにやさしい法的枠組み
子どもの権利を遵守するように法制度的な枠組みと手続きを保障すること
3. 都市全体に子どもの権利を保障する施策
子どもの権利条約に基づき、子どもにやさしいまちの詳細な総合計画と行動計画を定めて実施すること
4. 子どもの権利部門または調整機構
子どもたちの将来を見据えて、地方自治体の中に優先すべきことを保障する永続的仕組みを構築すること
5. 子どもへの影響評価
子どもに関わる法律や施策、そして事業について実施前、実施中そして実施後に子どもへの影響を評価する制度化された手続きが保障されること
6. 子どもに関する予算
子どものために適当な資源と予算が使われているかが調査されることを保障すること
7. 子どもの報告書の定期的発行
子どもたちと子どもの権利についての実情について十分なモニタリングとデータ収集が保障されること
8. 子どもの権利の広報
大人や子どもの間に子どもの権利について気づくことを保障すること
9. 子どものための独自の活動
子どものオンブズマン、子どものコミッショナーなど、子どもの権利を促進するために活動しているNGOや独立した人権団体の支援をすること
10. 当該自治体にとって特有の項目
人口、産業形態、地理的状况など、自治体固有の課題や強みを考慮して設定した取り組みを推進していくこと

あなたが幼い頃、大人から丁寧に気持ちを聞かれたことはありますか？
あなたがあなたの気持ちや考えを、話しやすいようにして
もらったことは、ありますか？
あなたの気持ちや考えを、代弁してくれる大人はいましたか？
反対に、あなたの気持ちや考えを聞いてもらえなかったことはありますか？
話しやすい雰囲気をつくってもらえなかったり、代弁してもらえなかった経験はありますか？
そのとき、どんな感情が、湧き起こりましたか？

かき消されがちな、子どもたちの声。
届けられない気持ち。届けられない考え。届けられない意見。
子どもたちが自分の気持ちや考えを臆することなく表明できる、そんな環境、文化を築くために、わたしたちはこどもアドボカシーについて学びあう場
として、こどものマイクけんきゅうかいを立ち上げました。

Child Advocacy こどもアドボカシーとは
こどもアドボカシーとは、子どもが話したいことを自ら話せるように支援したり、必要な場合には、子ども依頼または承諾を得て子どもの思いや意見を
代わって表明することです。そして、こどもの側に立って、子どもがそうできるように働きかけたり、支援する人をこどもアドボケートといいいます。
（こどもアドボカシー学会ホームページより）



その支援は「マイク」に例えられることがあります。ただし、「マイク」
のスイッチを入れるのはその子自身。「マイク」が勝手に喋り出して
代弁することはありません。



～わたしたちが大切にしていることについて～

- ◎学び場でもあるけれど、息抜き、休息（respite）の場でもあり、ママなどの役割を
降ろして横に置ける場に。
- ◎聴くことと話すことを分けて、それらを丁寧に重ねる（reflecting）場に。
- ◎全員の声大切にされる場に。遮られずに安心して話したいことを話せる場に。
- ◎何と答えようか、何を話そうかと考えながら聴かなくて良い場に。
- ◎話すことをゴールにせず、その人のペースでいられる場に。
- ◎各自の気づきのプロセスや速さに他人が口を挟まず、マイペースで思考できる場に。
- ◎自転車の乗り方を身体で覚えるように、共感と対話を味わう時間に。
- ◎対話の心地良さを味わうために、対等な関係性を。
- ◎この場に期待することをシェアしよう。

